

もりおかNPO連絡協議会 会報

もりおかNPO通信 VOL. 14

発行：もりおかNPO連絡協議会事務局

〒020-0871

盛岡市中ノ橋通 1-1-10 プラザおでって 1 階

もりおか市民活動支援室内

TEL: 050-7574-7674 FAX: 019-651-0646

Mail: info@morioka-npo.net

URL: http://www.morioka-npo.net

もりおかNPO連絡協議会は、市民活動団体の連携を推進し、市民・NPO・企業・行政が協働して、明るく住みよいまち盛岡の実現を目指し活動しています。現在、盛岡地区の80を超える団体（NPO法人、町内会・自治会、任意団体、公益団体等）が会員となり、情報交換や交流、研修を行っています。この会報を通じて、もりおかNPO連絡協議会の活動をご紹介します。

企業・市民活動団体研修交流会

「つながりが創りだす新たなまちの魅力！～連携による中心市街地の活性化～」



11月18日（木）13時30分～16時30分まで、岩手教育会館で、企業・市民活動団体研修交流会「つながりが創りだす新たなまちの魅力！～連携による中心市街地の活性化～」を開催し、企業、NPO、行政の方など、約60名の方にご参加をいただきました。

株式会社土澤まちづくり会社 専務取締役の猿舘祐子さんより、「アートと住民参加による商店街の活性化」についてご講演いただき、盛岡の商店街の取り組みとして、盛岡市肴町商店街振興組合青年部・4S会 会長の佐々木健二さんと東大通商業振興会会長の颯田淳さんより、活動紹介をしていただきました。その後は、盛岡商工会議所地域振興チームチームリーダー佐藤誠司さんにもご参加をいただき、パネルディスカッションを行いました。



■ 講演「アートと住民参加による商店街の活性化」



株式会社土澤まちづくり会社
専務取締役 猿舘 祐子さん

土澤まちづくり会社は、商業の活性化、コミュニティの復興を目的とし、平成14年に住民参加協働型第3セクターとして、住民・商店主が主体となり設立されました。

土沢地区は、観光資源が少なく、人口の空洞化や高齢化が進んでいるため、特にコミュニティの復興に力を入れ、多くの人に安心してずっと住んでもらえるような環境づくりを目指し、商店街が存続していけるようにと考え様々な取り組みをしています。

<街かど美術館アート@つちざわく土澤>

花巻市との合併前に「東和町ならではのものを残したい！」との思いで、平成17年より、商店街全体を美術館に見立て、アート作品を展示する「街かど美術館アート@つちざわく土澤」をスタートしました。

地元の美術館・萬鉄五郎記念美術館が事務局となり、行政、市民活動団体、民間が中心に実行委員会をつくり、その他、住民や自治会、市民活動団体等の方にもご参加をいただき、みんなで、商店街を盛り上げています。

街かど美術館は、各商店の中にも、様々な作品を1ヶ月程展示しています。はじめ地域の人たちは、展示する作品は油絵や水彩画等をイメージしていたので、様々な作品が展示されると「訳の分からない作品は飾れない。撤去してほしい」という声もありました。しかし、来場者の方と接し、街や作品がほめられることにより、商店主の意識が変わり、商店主が作品の説明をはじめたり、商店内を清掃するようになっています。

作家さんの多くは若い方で、高齢化が進んでいる商店街にとって、とても刺激になり、街の色が明るくなったと言います。また、作家さんが展示の準備に来ると、何かが始まるワクワク感・期待感が高まり、街が活気づいたそうです。

街かど美術館を開催したことにより、地域、人、美術館が一体となった新しい地域資源が誕生し、地域の良さを再認識する良い機会となり、イベントに関わった人たちは「みんなで作り上げたイベント！」という自信が生まれたそうです。そして何より、来場者の方からの声掛けやほめてもらったことが大きな要因となり、地域、人がイキイキと活気づき、飲食店等の売り上げもアップしたそうです。

今後も街かど美術館を継続して開催していくために、現在では2年に1度のペースで開催し、街かど美術館を開催しない年には、アート&クラフトのフリーマーケットを行っています。

また、街かど美術館を開催していない月は、月に1度、個々の商店が普段よりちょっと頑張り、商店街の賑わいづくりを目的に、「土澤ちょこっと市」等を開催しています。



<住み良い環境づくりの新たな取り組み>

その他、商店街の空洞化、建物の老朽化等により、土沢地区全体の活性化を図ることを目的に、「新・長屋暮らしのすすめプロジェクト」にも取り組んでいます。

このプロジェクトは、1階はテナント、2階は高齢者等への賃貸住宅、3階が地権者の住居という、「環境」、「地域」、「人」にやさしい共同環境・住まいづくりを行うものです。住民参加型の話し合いで、1階のテナントには、女性が活躍する場として、地域ニーズに合わせたお惣菜屋さんや、在宅医療の増加を見据えた訪問看護ステーション、気軽に誰でも集える高齢者のほっとステーション等が整備されることになっています。

さらに、土沢地区の住みよい環境整備の取り組みとして、ホテルの再生事業、毎週1回のお惣菜のチャレンジショップをオープンしています。

最後に、街づくりを行う上で大切なこととして、地域住民が主役となり、一人一人が地域に対し責任を持つこと。また、地域住民にしか分らない歴史等の大切なものは守りながら、変わることを恐れずに前に進み、可能性がゼロでない限り諦めずに進んでいくこと。そして、今の行動が未来ある子どもたちの夢・希望・未来につながる！というお話いただきました。



■盛岡市内の商店街の取り組み事例

盛岡市肴町商店街振興組合青年部・4S会 会長佐々木健二さんと東大通商業振興会 会長颯田 淳さんより、それぞれの取り組み事例についてご紹介をいただきました。

<盛岡市肴町商店街振興組合青年部・4S会>

盛岡市肴町商店街振興組合青年部・4S会は、独自組織として、肴町商店街や河南地区、盛岡の活性化をしていきたとの思いで、自主的に活動をしています。

そして、これまでNPOや福祉団体、専門学校等の様々な団体と連携し、子どもから大人の方までが楽しんでいただけるイベントを開催してきました。

現在は、月1回のペースでイベントを開催していますが、以前は、さらに多くのイベントを開催しており、イベント疲れを感じるようになりました。そこで、各得意分野を持った団体や個人の方との連携の必要性を感じました。

イベントを継続的に開催していると、団体や人との繋がりが広がり、イベント内容も充実し、商店街のにぎわいにも繋がっていきました。また、踊り等の活動成果を発表できる場を探している人が多いことにも気付き、その方たち等に声をかけ、今では、毎週末、様々な団体がイベントを開催している商店街となりました。今後も各団体等と協力しながら、win-winの関係を作り、また、多くの方に肴町商店街を活用していただけるように、活動をしていきたいと思います。



佐々木 健二さん

<東大通商業振興会>

東大通商店街は、ここ数年、若い方が夢や希望を実現できる場として、若い事業者の方にとっても人気がある商店街です。そして、その若い事業者の方たちは、改装にも力を入れており、ステキな空間づくりをしているお店が多く、昭和のレトロな桜山界隈の雰囲気とが融合し、とても魅力的な風情を作りだしている街です。入居予定の店舗も含めれば、現在、空き店舗がない、活気あふれる商店街でもあります。

これまで、ゆかた de 夢灯りオープンカフェや雪見カフェ、内丸緑地でのライブ等、様々なイベントを開催してきました。これらのイベントは、商店街と子ども会や学校、行政やNPO等と連携をして開催しています。

また、近隣の商店街や店舗等とも協力をして、中心市街地の活性化を目指し活動をしています。

このような活動を通じて、商店街に多くの方に来ていただくことも目的ですが、多くの方に、この街の力を感じ、街の魅力を再発見する機会になればと思い活動をしています。

そして、世代を超えた多くの方に楽しんでいただける街として、今後も活動を続けていきたいとのことでした。



颯田 淳さん

■ パネルディスカッション

「人が集まり動く仕組みを作ろう！～町内会や市民活動団体との連携の可能性～」

パネルディスカッションでは、講演をいただいた猿舘さんと事例発表をしていただいた、佐々木さん、颯田さん、そして、盛岡商工会議所地域振興チームチームリーダー佐藤誠司さんにもご参加をいただき、連携・つながりについて意見交換をしました。

パネリストの皆さんからは、他団体と連携して活動することにより、そこから、さらにネットワークが広がっていくこと。また、各団体や個人の方は、様々な思いで活動をしているので、共通な目的を持って活動していけるように、また、活動がスムーズに進むように、各団体等を上手くつなぐコーディネーターが必要なこと。そして、互いが連携することにより、お互いの活動がより良いものになり、その活動が次の活動へ繋がっていくこと等について、これまでの経験を踏まえて、お話をいただきました。

また、自分達の街を自らが見直し、街の状況を把握し、今後の街のあり方について、考えていく必要があることについてもお話をいただきました。



交流サロン開催しました！

様々な分野で活躍されている方からお話を伺いながら、交流を深め情報交換を行う「交流サロン」。今年度は3名の方にお越しいただき、様々なお話を伺いました。

■第1回「いきいきシニアライフ！

～これまで培ってきた知識、技能を活かした社会貢献活動～

● 話題提供者：NPO 法人シニアパワーいわて理事長 八島征治さん

シニアパワーいわてでは、職場で培った知識を活かし、行政や企業との協働事業で行った土砂災害に関する調査や各団体の経理支援事業、地域振興事業等、幅広い分野で活躍されています。

忙しい時期は、自分の時間が持てなくなることもあります。いろいろな年代の方などに会う機会も増え、楽しみながらパワフルに活動しています。

八島さんが、活動をはじめたきっかけは、退職後も社会の一員として、社会参加をしていくために、これまでの視野や考え方を換え、自分自身が変わっていかなくてはならないと思い、NPO 設立に関するセミナーに参加したことだそうです。

今後は、その出会い・つながりを大切にしながら活動していきたいとのことでした。



10月28日(木) 18時30分～20時
アイーナ6階団体活動室

■第2回「みんなで語ろう！盛岡さんさ踊り

～あなたのアイデアが、盛岡さんさ踊りの未来を変える！～

● 話題提供者：盛岡さんさ踊り実行委員会

盛岡商工会議所 事務局長 和井内信行さん

盛岡さんさ踊りは、昭和53年から毎年8月に開催されており、参加型の盛岡の夏祭りとして、多くの市民に親しまれています。また、さんさ踊りは、地域のお祭りや幼稚園、学校、病院、海外等でのイベントでも踊られ、交流のツールとしての役割も担っており、とても魅力的な踊りです。しかし、最近では、不況による資金不足が課題として挙げられています。

参加者の皆さんからは、さらに魅力的なお祭りにするために、「さんさ踊りの選考の際に、会場に来た市民も投票できるようにしたら良いのではないか」、「伝統さんさの演技をもっと取り上げて欲しい」等の意見が出され、参加者の皆さんと活発な意見交換も行われました。



12月7日(火) 18時30分～20時15分
アイーナ6階団体活動室

■第3回「連携による街づくり～住民や他団体と一緒に街づくりのポイント～」

● 話題提供者：街づくり集団「ゆいネット盛南」会長 泉館正彦さん

街づくり集団「ゆいネット盛南」は、盛南地区の開発により、大型ショッピングセンターやマンション等が建ち並び、以前の住民同士の連帯・つながりが薄れてきたのを不安に思い、学校の保護者会のメンバーなどが集まり、活動がスタートしました。

そして、盛南地区の街づくりについて考える「街づくりフォーラム」の開催や住民が一緒になって盛り上げられるイベントとして、地元のサッカー選手「小笠原満男選手を応援する会」、街を歩き、街を知り清掃を行う「モリモリウォーク」の開催など、地元の企業とも協力をしながら、多くの方に地域に関心を持ってもらえるように活動をしています。

活動当初は、地域の家庭一軒一軒にイベントチラシをポストに入れて歩くこともありましたが、そのうち、活動に興味を持った企業が協力してくれるようになり、今では、地域の町内会連合会や企業等と一緒に様々な活動に取り組んでいます。



1月26日(水) 18時30分～20時
アイーナ6階団体活動室

■ 編集後記

今回は、研修会と交流サロンについて、ご紹介をさせていただきましたが、皆さん、本当に様々な取り組みをされており、今後の活動のヒントになることがたくさんありました。今後も、様々なテーマで学ぶ機会を増やし、情報交換等も行いながら、各団体の活動のお役に立てれば良いと感じました。